

『新編西周全集（第3巻）』訂正表 [2025年12月]

◆551頁

・12行目 誤…佐々木愼四郎↓正…佐々木愼思郎

◆552頁

・3行目 誤…漱脇壽一郎↓正…瀬脇壽一郎

◆553頁

・9行目 誤…佐々木愼四郎↓正…佐々木愼思郎

◆772頁

・3行目から10行目を以下に全文差し替え

独和字彙序

従事洋学者於対訳辞書、猶工匠於尺度、大厦高堂、巍然聳天、使人疑神設鬼構者、其始、莫非尺々惟度、寸々惟校之効矣、今繙洋書、或講究之、或翻訳之、語々悉其義、句々尽其意、通章全篇、旨趣貫徹、如此則累籍大冊、亦不為難、而其始也、莫不必由辞書之対訳得其当矣、従来独逸辞書、与邦語対訳者、既有数部、然初学子弟、或苦其未周到、此書風祭甚三郎君、所編纂、周索傍考、既歷年所、其苦心亦可想、則其為裨益於後生晚進、顧為不淺歟矣、雖然、天下之尺度、率極精覈、使拙工用之、棟梁椽桷、輪輿之美幾稀、蓋所謂巧拙者、将有外於尺度而在焉、学者其可不勉乎哉、

明治十六年一月

従四位 西 周撰

◆824頁

・7行目「主格(subject)」を削除

◆825頁

・6行目「能動(active)」を削除

・最終行 誤…二四〇語・うち通用の語は三一語↓正…二三八語・うち通用の語は二九語

◆851頁

・11行目 誤…□ー□・□音合符(漢音)↓正…□ー□・□音合符・右(漢音)

・12行目 誤…□ー□・□音合符(吳音)、一部の訓↓正…□ー□・□音合符・左(吳音・一部の訓読み)

・13行目 誤…訓合符(訓読み)↓正…訓合符・中央(訓読み)

◆874頁

・「八 育英舎則」4行目 誤…愼四郎↓正…愼四郎<sup>[4]</sup>

◆876頁

・11行目 誤…愼思郎<sup>[4]</sup>↓正…愼思郎

◆879頁

・後から2行目 誤…井沢修二↓正…伊沢修二

◆944頁

・最終行から945頁1行目

誤…荒木卓爾の名は、「西周文書」の「以呂波別人名録」に、住所(根岸金杉村百六十五番地)と共に載っているが(分類番号一一五、リールNo.12、428コマ)、その余のことは不明である。

**正**…荒木卓爾の名は「育英舎則」（本巻552頁）に見え、育英舎の塾生だったことが知られ、「以呂波別人名録」にも住所（根岸金杉村百六十五番地）と共に載っている（分類番号一一五、リールNo.12、428コマ）。

◆948頁

・7行目から9行目

**誤**…旧全集の解説にもある通り、刊本の所在及び著者についての詳細は不明であるが、「以呂波別人名録」（分類番号一一五、リールNo.12、429コマ）に佐久間の名と以下の記述が見られる「福井師範学校教員 福井錦上町 佐久間正 元若代鋭門」。

**正**…刊本の所在については不明であるが、著者について「以呂波別人名録」（分類番号一一五、リールNo.12、429コマ）に以下の記述が見られる。「福井師範学校教員 福井錦上町 佐久間正 元若代鋭門」。著者は沼津兵学校に留学した福井藩士で、その略歴は樋口雄彦『沼津兵学校の研究』（吉川弘文館、2007）607頁に掲載されている。

◆964頁

・4行目 **誤**…二字漢語 二四〇語 三二語 一二・九%↓**正**…二字漢語 二三八語 一二九語 一二・二%  
・7行目 **誤**…一三（二〇%）↓**正**…一二（二〇%）

◆982頁

・後ろから7行目 **誤**…追加掟者↓**正**…追加掟書

◆人名索引4頁

・「さ」項 **誤**…佐々木愼四郎↓**正**…佐々木愼思郎  
・「せ」項に「瀬脇壽一郎 552」挿入  
・「そ」項「漱脇壽一郎」削除